

第3回しまね産業活性化戦略会議知事挨拶

本日は、3回目の戦略会議でございます。

これまでに戦略会議での議論のほか、ITなどは部会なども何度か議論もしていただいておりますが、本日御議論をおまとめいただきまして、私どもとして、それを今後の一つの指針として発表し、それに基づいて産業の振興をやっていきたいと思っております。

今日お配りしてある資料のとおり、これまでやっておりますものづくり、製造業を中心とした産業の振興、新産業の創出、新しい技術の開発、県内企業の強化支援や企業誘致。

それに、このたびいろいろ御議論いただいておりますのはITのソフトウェア、製造も含むと思いますけれども、IT産業をこの地、特にきょう会議を開催をしておりますソフトビジネスパークは県がそのために開設した場所でございますけれども、松江の地、この地において発展をさせていくということも、この戦略会議の一つのまとめになります。

それから、地域資源を活用した観光あるいは農林水産業の振興。

これら3つが大きな柱になると思います。

実は10月には東京におきまして観光業のPRをやってまいりました。

今年は石見銀山が世界遺産に登録をされまして、東京、首都圏の観光業者、あるいは航空・運輸会社、JR等々、それから観光をPRされる雑誌社、メディアの方々もお呼びして、県からも宿泊をされる業者の方々、300人ぐらいの会合でございました。大変関心が高うございまして、もう現実いろんな効果が出ておりますけれども、ますますこの分野も発展をさせていきたいと思っております。

ITも、10月の中旬でございましたが、東京でPRいたしまして、プログラムを作成する会社を中心に、これも総勢で300人ぐらいの説明会になりましたけれども、非常に関心は高うございます。特にRubyといった新しいコンピューター言語がこの地で開発をされているということで、それに対する関心もありまして、多くの方々がこの松江の地、島根の地を立地の場として考えてくださっているわけでございます。

そういう意味におきまして、宮脇さんのところの新社屋におきましてこの会合が開かれるということは、誠に有意義なことでございます。この会合にも、黒田さん、宮脇さん、県内のそういう分野を既にやっておられる方もおられるわけでございますけれども、さらに島根の地がITの立地場所となって発展をするように、私どもも努力をしてみたいと思う次第でございます。

今日ここにお集まりいただきました皆様方のお知恵をかりながら、県としてもこれから実践的にやってまいりますので、何とぞよろしく御支援のほどを賜りますようお願い申し上げます。冒頭のごあいさつといたします。本日はどうもありがとうございます。